

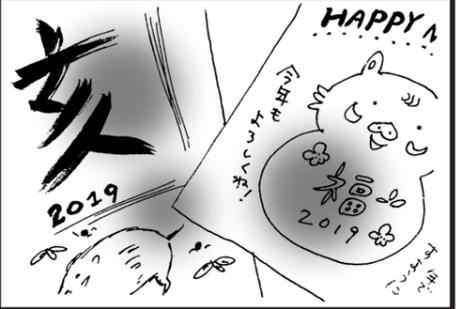


コーレ倶楽部通信



亥年
残りわずか……

コーレ倶楽部通信新聞部
〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



「流しの美術製作隊」にオジャマ

ネズミさん、君の出番が来た！

コーレの館内にいると、時々聞こえてくる子供たちの声。「あったぞ！」「やった！」何やら紙と鉛筆を持ってコーレを探検している模様。家族や友だち同士で協力し合って答えを書いているみたいです。一体何をしているのかな？

子どもたちが夢中になって探しているものとは、年に4回行われるコーレ・ラリーの15枚のカードなのでした。そのカードにはテーマに沿ったイラストが描かれており、参加者は15枚をすべて見つけ出すというゲームなのです。次回、冬のラリーのテーマは『ネズミが登場するむかし話』です。コーレ・ラリーを製作している「流しの美術製作隊」のHさんにお話を伺いました。

H：今回は年末年始のラリーということで、来年の干支にちなんで「ネズミ」をテーマにしてみました。いつもだいたい旬なネタや季節感を考慮してテーマを決めています。今年は朝乃山が優勝したという事もあるって、『相撲の決まり手』も題材にしました。

— 私も子どもたちが取り組んでいるのをよく見かけます。

H：はい、子どもたちが一生懸命探しているのを見るともううれしい気持ちになります。私としてはぜひぜひ大人の方々にもラリーに挑戦していただきたいと思っています。学校で友だちに教えてあげたり、大人にとっても豆知識となるような解説と一緒に掲載しているので、楽しく取り組んでいただけたらと思います。

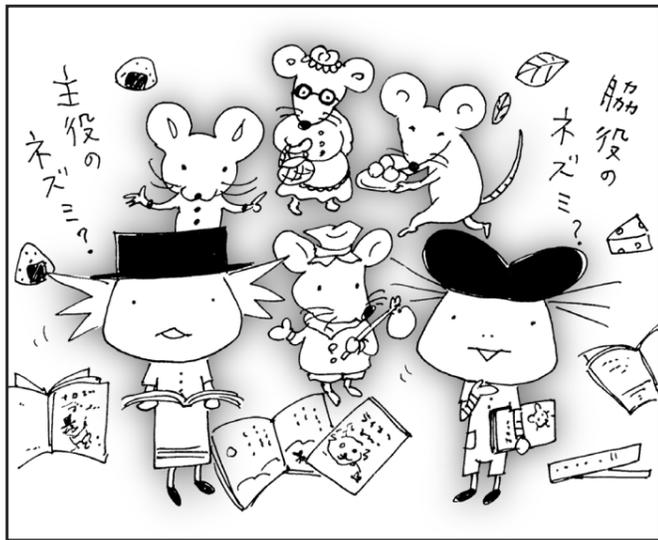
— 次回、冬のラリーのテーマは『ネズミが登場するむかし話』ですが、例えばどんなお話がありますか？

H：ネズミが主役のおとぎ話となると数が少ないので、脇役のネズミにも焦点を当てています。例えばシンデレラに出てくるネズミ。彼らはシンデレラの友だちで、舞踏会に出席できるよう古いドレスを仕立て直してくれる、とても重要な存在なんです。物語の名前は聞いたことのあるけど内容までは覚えていない、という話も結構あるのではないのでしょうか。ざっくりとあらすじも紹介して、こんな話だったなあ、もう一回読んでみようと思っていただけたらうれしいです。

『ネズミが登場するむかし話』を考えてみても、思い出すことができませんでした。小さな小さなキャラクター。でもきつとちょこちょこ動くコミカルで話を楽しめる存在なのではないでしょうか。

取材時には秋のラリー『フルーツの名前』が開催されていて挑戦してみました。上手に隠されていて、なかなか見つかりません。でも大丈夫、そんな時は受付でこっそりヒントを聞いてみましょう。全部探したら、解答用紙をボックスに投函！あとはドキドキ待つだけです。正解者の中から抽選でラリーのキャラクターであるセロリとパセリのオリジナルグッズが当たりますよ。さあ皆さんも挑戦だ！

(TEXT = 月がふたつ)



コーレ・ラリー セロリとパセリがコーレで待ってるよ！

今回のテーマは「ネズミが登場するむかし話」！コーレのどこかに「むかし話」を紹介したカードが15枚あります。時間制限はないので、ゆっくりとコーレを散策しながら遊べる「カード探しゲーム」です。セロリとパセリが案内役として、カード1枚1枚に豆知識を語っているので、それも読みながら楽しんでください。

11月30日(土)～2月2日(日)/コーレ/参加無料

- ★正解者の中から抽選で20名に、セロリとパセリの「オリジナルグッズ(文房具など)」をプレゼント！
- 問題用紙はコーレのエントランスにおいてあります。
- コーレの開館中、好きな時間に参加できます。



今月のひとりごと

楽しく気分よく、感謝して生きよう

人生なんて自分の思い描いた通りに行かなくて当たり前。でも今世は一度きり、だから今を楽しみましょう。だって、あなたは今を生きている人だから。

死を目前にした人が何を悔いるか……。

- ① 会いたい人に会っておかなかったこと
- ② 他人に優しくしなかったこと
- ③ 愛する人に、ありがとうと伝えられなかったこと
- ④ 生と死の問題を乗り越えられなかったこと
- ⑤ 神仏の教えを知らなかったこと

大谷暢順著の『人は死んでもまた生き続ける』の中に挙げられていました。④と⑤は難しいとしても、①と②と③は普通の人、私でも頑張れば実行出来そうです。

「お金や地位や名声もなくて、傍からは地味でつまらない人生に見えたとしても、本人が本当に好きなことが出来ていて、“ああ、幸せだなあ”と思っていれば、その人の人生はキラキラ輝いています」と、樹木希林さんが言っていました。なんてスッキリとキリリとした言葉でしょう。お人柄が出ていますね。

そこで、私はハタと気づきました。人が気分よく生きる秘訣は「ありがたい」と思う事……「ありがたい」と思うだけで必ず幸せが生まれるはずですよ！

<ありがとうと笑顔は魔法のこぼれ・み>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄り無形の情熱を有形に変えていくグループです。何をやるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなどに、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コーレまでご連絡ください。



コーレ倶楽部アクティブグループ 11月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会
ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼11月2日(出)・23日(出) 各日 13:00～17:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス
ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼11月毎週月 各日 19:30～22:00

アコギを楽しむ会
アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼ミーティング：11月17日(日) 19:00～22:00
11月30日(出) 19:00～22:00

消しゴムはんこづくり ペったん
1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。
▼11月28日(日) 19:30～21:00
「エンジョイ！クリスマス」

コンテンポラリーダンス ミラージュゲート
年齢・性別・経験を問わず、ダンスを楽しみましょう。
▼11月14日(日) 19:00～21:00

コーレ倶楽部通信新聞部
この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：11月11日(月) 19:30～21:00

お問い合わせ：コーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

日本の伝統話芸 旅成金 in 黒部

2019年9月22日/カラーレ

「成金」は、二ツ目の落語家、講談師11人のユニット。その中の3人、柳亭小痴楽、瀧川鯉八、神田松之丞が「旅成金」としてやってくる！はずだったが、生憎の台風の影響。めでたく真打昇進となった小痴楽さんは、当日の夜も東京で昇進披露興行を控えており、交通の乱れが心配され残念ながら休演となった。若手の江戸前落語を聴いてみたかった。が、鯉八・松之丞二人会となったことで、一層意気込みが伝わる挨拶から幕開け。満席の会場に「小痴楽バカ野郎〜！」をご一緒に、で笑いを一発。

松之丞さんは今最もチケットがとれない講談師として知っていたが、鯉八さんは芸風も知らない落語家。「にきび」「多数決」の2席、独特な視点の新作落語に、脳みそがザワついた。にきびに悩む孫と、にきびはじっくりと育て、究極まで我慢してから潰すのが若い時しか味わえない快感だ！と論ずるお嬢さんの斬。ねっとりした間合いが、自身のにきびの痛みや赤みが記憶からほじくり出される。そしてお嬢さんのちょっと猟奇的(?)なキャラがすごい。大抵、落語を聴いているとドラマ仕立てな画が頭に流れる私だが、鯉八さんの落語はシュールな漫画だった。私にとって今最も脳裏に焼き付く落語家だ。

片や松之丞さん。難解な印象の講談を、落語の要素も交え笑いを誘い、語りにも慣れたところで講談のリズムに落とし込む「鮫講釈」。今生の別れの場面、聴き処をさり気なく伝えながら登場人物を演じ分け、観客を引き込む力量が見事な赤穂義士伝「南部坂雪の別れ」。手にする張り扇がビシヤリと積台を叩く音。徐々に松之丞さんから帯びる熱気がホールの隅まで浸透してゆく。「消えゆく文化」講談の面白さ、その伝道師として活躍する松之丞さん、独自の斬で落語の新境地を開く鯉八さん。来年はお二人真打昇進が決まっている。ますます芸に磨きをかけ、話芸の新しい面白さを私達に伝えに来て欲しい。
＜萬亭いち円/女性＞

葉祥明展「今、僕はここにいる」

2019年9月/黒部市美術館

黒部市美術館開館25周年を記念して、創作絵本作家であり、画家そして詩人でもある氏の北陸初の本格的個展が開催された。訪れた日は最終日でとても混雑していたが、期間中も多くの来館者があつたとスタッフから聞いた。

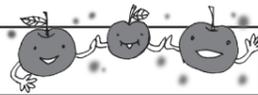
入場して最初に目に入ったのが、広大な草原と青空が描かれた一連の作品。それぞれに描かれた白い家、1本の木、犬、馬、少女などが印象的であった。どれもとても柔らかくやさしい光に包まれている。生きとし生けるものの喜びと輝きを感じる。メルヘンと一言では言い表せない、空と大地に息づく生命空間を感じる。

先へ進むと海の世界が描かれた一連の作品。青く深く澄んだ海中にイルカと犬が戯れる幻想的な世界。美しい絵に変わらないがそれは見た目だけのことではない。歓喜に躍動する命の輝きが美しいのだと語りかけて来るようである。

次の展示へ進むと様相が一変する。「サニーちゃんシリアへ行く」子どもの目を通した視線でシリアの内戦が描かれている。空爆で無残に破壊された都市。灰色に染まった人の行列。路上に横たわる死体。それは悪魔と化した人間の所業。犠牲になるのは子供、女性、老人、動物たち。弱い立場の者が真っ先に命を奪われるという理不尽さ。国際問題、社会問題を叫ぶことはとても勇気のいることである。氏の地球を母体とし生を受けるものはあまねく平和であらねばならないとの強いメッセージを感じる。

最後に氏が信条として唱えている言葉に目が止まった。「古代の壁画の時代から描くということはスピリチュアルな意思を持っていたはず。人類の一人として本質をとらえて描写することを忘れてはならない」
心に刺さった。 ＜風に震える緑の草原/60代男性＞

カラーレ倶楽部の広場



わたしのたび紀行

熊本・人吉に歴史を訪ねる。

■一度は行きたかった「人吉」

熊本県の最南端に位置し球磨川に面して、西南の役で西郷軍の撤退経路にもなっている人吉市は、人口32,500人。鎌倉時代から幕末まで約700年間にわたり人吉・球磨地方を統治した相良氏の城下町で、「日本で最も豊かな隠里」とも。源平合戦に敗れた平家の落人が逃げてきた場所といわれ、落人たちが都での華やかな生活を思い返し、鄙の暮らしを慰めるため、きじ馬や花手箱、羽子板などの美しい木工品を生み出した。温泉、社寺、球磨焼酎、球磨茶、球磨川下りが有名である。

■人吉市内を巡って

人吉は、古くから熊本の南の玄関口と呼ばれ、「九州の小京都」とも。周囲を険しい山々に囲まれた盆地には、国宝に指定された青井阿蘇神社をはじめ、由緒正しい神社や仏閣が点在し、北原白秋や斎藤茂吉などの文豪にも愛された名湯が湧く温泉地で球磨川や人吉城跡が望める。

良質の米だけを原料に使用する球磨焼酎は、人吉球磨地方の代表的な特産品。そのひとつの「織月酒造」がたまたま蔵祭りを開催しており、酒蔵の見学や試飲を楽しめた。



平安時代の806年に創建され、1200年以上の歴史を誇る「青井阿蘇神社」は、神社前に朱色の手すりがある。本殿、廊、幣殿、拜殿、楼門の5棟社殿群が2008年に熊本県初の国宝に指定された。茅葺の桃山期の華麗な装飾には、華やかさと迫力を感じた。休憩に立ち寄った茶房の名称は熊本に来てなぜか「ギャラリー立山」で、抹茶セットで喉を潤した。

人吉駅北側にある大村横穴群は、阿蘇溶結凝灰岩の崖面の東西約550mにわたり分布する6～7世紀の古墳時代に造られた墓で、1921年に国史跡に指定された。横穴は20数基群集して見られ、内8基に横穴の外には動物、武器、武具、円文、三角文などの幾何学文様の装飾が描かれている。

■球磨川の急流下りを楽しむ。

人吉盆地や八代平野を経由し八代海に注ぐ球磨川は、最上川、富士川と並ぶ日本三大急流。JR人吉駅から徒歩20分ほどにある発船場から温泉町までの間を15人ほどが乗れる人力の木舟で下る球磨川下り。舟から、人吉城跡、人吉の街並みの眺めを約50分間楽しんだ。球磨川は昔から物資輸送の手段として舟が利用されてきたが、1909年に、門司～人吉～鹿児島間に鉄道が全線開業すると、物資輸送の中心は舟から鉄道へと変わり、使われなくなった舟を活用しようと、老舗旅館が球磨川下りを考案したと。舟の先頭の船頭と後ろで舵を握る“ともはり”の二人で舟を操る。岩や大小の荒波を、船頭が巧みな舵さばきですり抜け進む球磨川下り。急流地点で水しぶきを浴びるが、それも醍醐味。与謝野鉄幹・晶子夫妻も、人吉を訪れ球磨川下りを楽しみ、歌を詠んでいる。



＜K・N/60代男性＞



新聞部からのおてがみ

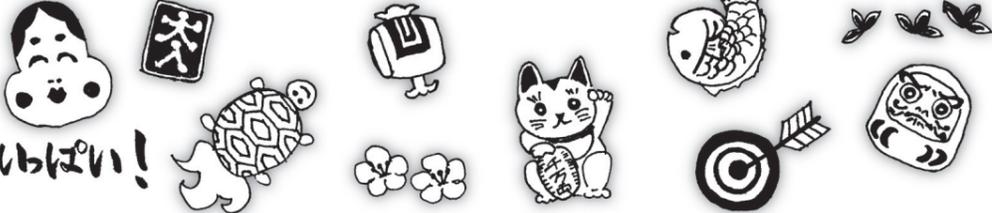
令和元年が始まって半年ですが、2019年はもう余すところ2ヶ月となりました。来年の事を言えば鬼が笑うといいますが、来年の干支は十二支の始まりの子(ねずみ)です。ねずみが十二支の最初の動物となったわけは、昔話になっていてよくご存じですね。

ちょっとずる賢くて身近にいてちょこちょこ動き回るねずみが登場するお話は、たくさんあります。11月30日から始まるカラーレ・ラリーのテーマはねずみが出てくる物語です。皆さんご存知のお話は15枚の中に幾つあるでしょうか。是非挑戦してみてください。
＜か＞

カラーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地 カラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 info@colare.jp

酉の市縁起のいいものがいっぱい!



プリンセスQPズバリ占う!あなたの11月の運勢



- 【1月生】知識やスキルが評価される星回り。恋愛運絶好調。金運は周りにおこる予感、軍資金は多めに。仕事運絶好調。
- 【2月生】小さな幸せがある星回り。夢の実現のため1歩踏み出して吉。恋愛はライバル出現。金運絶好調。仕事運低調。
- 【3月生】共同作業の中で才能を発揮できる星回り。恋愛は自分のペースを保って。金運絶好調。仕事は難問解決して吉。
- 【4月生】人より自分を大切にの星回り。恋愛は相手に振り回される注意。金運、自己投資にツキあり。仕事は集中力低下。
- 【5月生】人を思って本当の事を語る星回り。恋愛運絶好調。金運予想以上の臨時収入あり。仕事運絶好調、勤が冴える。
- 【6月生】細かい点が気になる星回り。大らかに過ごして吉。恋愛は自分の気持ちに正直で吉。金運好調。仕事運良好。

- 【7月生】自信が付く出来事ありの星回り。恋愛運絶好調。金運低迷。仕事は人の手柄に、しかし後に大成功を手にし吉。
- 【8月生】気持ちが空回りする星回り。周囲と少し距離を置いて。恋愛低迷。金運、おだてに注意。仕事は計画見直しで吉。
- 【9月生】人に必要とされる星回り。人を見る目に優れて吉。恋愛運絶好調。金運良好。仕事は指導や教育を担当して吉。
- 【10月生】行動的なあなたの姿が人を勇気づける星回り。恋愛運低迷。金運は口座残高チェックを。仕事は焦らず吉。
- 【11月生】理想を形にできる星回り。アイデアが湧く。恋愛運絶好調。金運平穩。仕事でお金に関する問題は周囲に相談。
- 【12月生】少し厳しい指摘がある星回り。素直に聞いて吉。恋愛は魅力的な人と会う。金運低迷。仕事は社外活動にツキ。

編集後記

- 災害の多い日本では「日常生活の当たり前こそ、一大事なり」は実感です。電気・ガス・水道・道路・病院など私達は文明の恩恵に預かっています。常に誰かの力に支えられ、社会が回っています。助け合う心はあたたかい。＜み＞
- ペーパーレス化で給与明細もスマホで確認のご時世とな。私の幼少時、父親の給料は現ナマ支給。帰宅したら即、神棚に上げていたなあ。紙の重み、稼いだ実感。金の有り難さ、パパちゃんに叩き込まれたなあ。そんなのは今は昔。カネは電子にナリニケリ……。＜パペボ＞
- 快晴だったので部屋の大掃除をしました。タンスをどかして掃除機をかけ、拭き掃除までしたら大粒の汗でびしょり。ついでにタンスの服も入れ替えようと思っておりましたが、セーターを出すにはまだ早いかな。＜月がふたつ＞
- 11月となればもう秋も終わり。えっ、食欲の秋も芸術の秋もおしまい？ そんなことはありません。11月3日は文化の日、11月11日はポッキーの日、そして21日はボジョレヌーボー解禁の日。まだまだ盛り上がりついで！＜高場まさかり＞
- 炊き立ての新米の美味しさを満喫してきましたが、ところでお米はいつまで新米と呼ぶのでしょうか。なんとJAS規格でその年の12月31日までに精米・包装したものと決まっているそうです。秋の終わりとともにこの食欲も収束するのだろうか？＜布袋＞